

平成25年4月15日

担当 第6学年 石田 真利子

1 ねらい

身近な地域に残されている遺跡や遺物を見学し、当時の人々の暮らしを体験したりすることによって歴史遺産への興味関心を高める。

2 評価

《関心・意欲・態度》

身近にある遺跡や遺物に対して関心を持ち、当時の人々の暮らしや社会の変化について進んで調べようとしている。

3 学習活動について

社会「米づくりのむらから古墳のくにへ」米作りが始まる前の時代

4 事前指導

- ・旧石器時代の暮らし、縄文時代の暮らしを教科書や資料集を使って学習させる。
- ・富沢遺跡、山田上ノ台遺跡のあらましについて学習させる。

5 当日の学習内容

(1) 縄文の森広場

1) 見学学習

- ・館職員の説明を聞きながら、復元住居・遺構表示等の野外展示及び館内の展示見学をする。
- ・探検シートを使って自由見学をする。

2) 体験学習

石アクセサリー作りをする。

(2) 地底の森ミュージアム

1) 見学学習

- ・全体で館職員の説明を聞きながら、地下展示室の見学をする。
- ・学習ノートを活用して、1階展示室の自由見学をする。

2) 体験学習

石器作りをする。

6 事後指導

- (1) 学習ノートや探検ノートで調べたことや体験したことを振り返らせる。
- (2) 自分の学んだことや感想などを文章や図でまとめさせる。

利用学習報告書

平成25年4月26日

第6学年主任 石田 真利子

1 事後指導について

(1) 実施日

平成25年 4月23日(火) 5校時

(2) 主な内容

社会科の授業で、縄文時代と弥生時代の生活の様子を図にまとめて比較し、共通点や相違点について考えた。

2 送付する資料

児童の学習ノート(3名分)



